

## 潰瘍性大腸炎患者さんの治療目標

潰瘍性大腸炎患者さんの治療では第一に自覚症状の改善を目指しますが、最近では、自覚症状の改善に加えて、粘膜の炎症を完全に消失させた「粘膜治癒」を目標とすることが推奨されています。粘膜治癒が達成できれば、寛解期(症状が治まった状態)を長く維持することができ、重症化予防や大腸がん予防につながるともいわれています<sup>1)2)3)</sup>。患者さんそれぞれの状態にあった治療目標を設定し、適切に治療を進めることで健やかな生活を送りましょう。

【監修・写真提供】

猿田 雅之 先生

東京慈恵会医科大学 内科学講座  
消化器・肝臓内科 主任教授

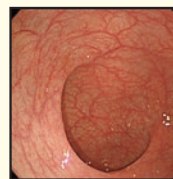
### 治療スタート

自覚症状の改善、粘膜治癒を目指すには、決められたお薬を医師の指示通り使うことが一番の近道です。

### 自覚症状の改善

自覚症状が改善しても、大腸に炎症が残っていることがあり、炎症が残っていると、再燃する(活動期に戻る)ことがあります。粘膜治癒を目指す場合は、処方されたお薬をしっかり継続して使いましょう。

### 治療経過



内視鏡的な寛解期  
(粘膜の炎症の完全な消失)

◀炎症は完全に消失し、血管も透けて見えます



臨床的な寛解期  
(自覚症状の改善)

◀ごく軽度の炎症が残っています



活動期  
(炎症による下痢・血便などの自覚症状がある)




◀強い炎症と多数の潰瘍が目立ちます

粘膜治癒達成



# 潰瘍性大腸炎 症状チェックシート

現在の症状について「目安」を参考に点数化して、症状改善に役立ててください。また、お薬の使用状況も振り返ってみましょう。担当医の先生に伝えたいことを「その他の気になる症状」に書き込みましょう。

記入日の症状	記入した日付 1日あたりの目安	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第( )週	第( )週
排便回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 正常:0点</li> <li>■ いつもより1~2回多い:1点</li> <li>■ いつもより3~4回多い:2点</li> <li>■ いつもより5回以上多い:3点</li> </ul>	点	点	点	点	点	点	点	点 
血便の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 認めなかった:0点</li> <li>■ 便回数の半分以下に認めた:1点</li> <li>■ 便回数の半分以上に認めた:2点</li> <li>■ すべてが粘血便だった:3点</li> </ul>	点	点	点	点	点 	点	点	点
腹痛	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 感じなかった:0点</li> <li>■ すこし感じた:1点</li> <li>■ 強かった:2点</li> <li>■ 痛みや便意で夜間目覚めた:3点</li> </ul>	点 	点	点	点	点	点	点	点
TOTAL	以上の点数を合計してみましょう。	点	点	点	点	点	点	点	点
お薬の使用状況	もらったお薬のうち、どれくらい指示通り使えたか振り返りましょう。	%	%	%	%	%	%	%	%
その他の気になる症状	次回受診時に、担当医の先生に相談してください。								



## Doctor's Comment

症状が治まっても、大腸に炎症が残っている可能性があります。医師、薬剤師に指示された期間、しっかりとお薬を使用しましょう。